

# 23PO-am424

日本人成人の血漿中 EPA/AA - 2年間の啓発・啓蒙活動による変動 -

○原澤 秀樹<sup>1</sup>, 田口 真穂<sup>1</sup>, 北村 真一<sup>2</sup>, 森本 雍憲<sup>2</sup>, 中道 節<sup>2</sup>, 小林 悟<sup>3</sup>, 阿部 博<sup>3</sup>, 黒田 哲弘<sup>4</sup> (<sup>1</sup>横浜薬大, <sup>2</sup>(株)アシスト, <sup>3</sup>(株)アベ科学, <sup>4</sup>日水健保組合)

【目的】演者等は、エイコサペンタエン酸(以下 EPA)に関し、疫学調査・基礎・臨床研究等を行って来た。現在、EPA は臨床用医薬品・健康食品として供給され疾患の治療・予防やスポーツ選手の運動持久能の向上等に活用される様になって来た。138年会において、日本人成人の血漿中 EPA/AA の平均は 0.29 と非常に低い値で、その傾向は年代・地域別にみられ、特に低年齢ほど低い値であったことを報告した。今回、2年間の啓発・啓蒙活動の結果を報告する。【方法】日本水産職員の定期健康診断において、脂肪酸構成測定(EPA, DHA, AA, DHLA)の同意が得られた職員 2,122 人(2016 年)2,300 人(2017 年)2,267 人(2018 年)を対象に解析した。解析は、性・年齢別に行い比較した。また、今後 10 年間の心筋梗塞・脳梗塞の発症リスクの変化についても推測した。統計処理は、StatView5.0(南江堂)を用い、有意水準は危険率 5%未満とした。【結果】血漿中 EPA(mean±S.D., mg/dl)は、66.20±51.53(2016 年)から 76.71±65.37(2018 年)に増加し、AA は、229.8±59.0(2016 年)から 203.2±53.26(2018 年)に低下した。DHA は、140.54±57.64(2016 年)から 127.62±61.15(2018 年)に低下した。EPA/AA(mean±S.D.)は、0.29±0.225(2016 年)、0.35±0.279(2017 年)、0.38±0.318(2018 年)であった。年代別の平均では、50 代が 0.34 から 0.46 に 60 代が 0.38 から 0.42 に増加したが 40 代以下では 0.4 以下であった。今後 10 年間の心筋梗塞・脳梗塞の発症リスクについては、現在集計中であり併せて報告する。【考察】日本人の血漿中 EPA/AA は、0.4 以下で疾患との関係が指摘されており、当初の目標として来た 2 年間の啓発・啓蒙活動により全体では平均で 0.38 であった。年代別では、50・60 代が 0.4 以上であったが、低年齢において 0.3 以下であった。2016 年と同様な傾向がみられことから、現在、具体的対策を考案しており実施して行きたい。